自治公民館活動・地域コミュニティ活動における 新型コロナウィルス感染防止対策ガイドライン

令和3年7月 人吉市

このガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大の予防と地域コミュニティ活動の両立を図るため、国が示した『 新しい生活様式 』 や『 熊本県感染防止チェックリスト 』に基づき、**基本的な考え方**を示し、活動の取組例などを紹介するものです。

各種活動を行う際の参考としてご活用ください。

1 地域コミュニティ活動について

町内会等の地域団体による地域コミュニティ活動は、地域住民の親睦・交流や防災防犯、安全安心な環境づくりなど、大変重要な役割を担っています。しかし、地域でのお祭りや各種会議など、感染拡大が懸念される活動などについては、十分な配慮を行う必要があり、状況により、行事の中止や延期等も考慮に入れた判断が求められます。

現在は、地域コミュニティ活動と感染拡大防止の両立が求められていますが、感染拡大の不安を感じる住民等の皆さんは少なくありません。

「活動の必要性」や「実施する上での対策」などについて、十分に地域住民の皆さ んへ周知し、理解と協力を得ることが重要です。

2 基本的な感染症対策の徹底(基本のき)

(1)体調不良の方は活動を自粛する

体調不良の方、症状がなくても体調等に不安のある方などは、自主 的に参加を控えましょう。

また、主催者・代表者は、参加が強制とならないよう配慮しましょう。



(2) 手洗いや手指消毒、マスク着用の徹底

手洗いや手指消毒、マスク着用により、ウイルスを取り込んでしま う可能性を減らしましょう。

(3) 「密」(密集・密接・密閉) を徹底的に回避

① 密集しない

人がたくさん集まること、少人数でも近い距離で集まること は避けましょう。

② 密接しない

飛沫を防ぐため、互いに手が届く距離での会話や発声、運動などを避けましょう。

③ 密閉しない

屋内では換気を徹底し、窓がないなど換気ができないような場所 での活動は避けましょう。





3 主催者が注意すべきこと

(1) 感染症対策チェックリスト(屋内活動用・屋外活動用)の活用 活動の主催者・代表者は、活動前に別添の「感染症対策チェックリスト(屋内・ 屋外活動用)」などを活用して、十分な対応がとられているかを確認しましょう。

(2)参加者名簿の作成と保管

万が一、感染者が発生して追跡調査が必要なときのため、参加者名簿などを作成して活動日から1か月間程度、保管しましょう。作成にあたっては、個人情報保護の観点から、本人に同意を得た上で作成し、保管場所にも留意しましょう。

(3) 特に対策が必要な活動

次の活動は、感染リスクが高いとされ、特に対策、注意が必要です。
□調理、会食を伴う活動
□密接が避けられない活動 (例:囲碁、将棋、麻雀など)
□専ら運動することを目的とした活動 (例:踊り、ダンス、体操、運動など)
□密閉した部屋で大きな声を出すことや歌う活動 (例:合唱、カラオケ、詩吟、民謡など)

4 地域活動における取組事例

これまでの内容を取り入れた、各種活動における具体的な取組事例をお示しします。 なお、あくまで一例となりますので、各団体において、活動内容や状況に応じて、 適宜、 感染拡大防止の対策に努めてください。

項目	十½m组車百
71	主な取組事項
①定期総会	可能であれば、書面開催を検討する。
等、	◇ 集まる場合は、書面表決や委任の手段を活用し、最小限の人数で
各種会議の	開催する。
開催	※人吉市ホームページに書面表決等による総会の進め方 (例) を掲載
	しています。
②各種会合	座席の間隔をできるだけ2メートル以上(最低1メートル)空ける。
	◇ 参加者の人数は、会議室等定員の約5割を目安に。
	◇ 対面座席は避け、マスク着用や防護シートの設置等により、飛沫
	感染を防ぐ。
	◇ 会場内での会食等はできるだけ避け、お弁当など持ち帰れるもの
	等を検討する。
③回覧	緊急性等を考慮し、回覧の要否を十分に検討する。
	◇ 各種活動の告知などを回覧により行う場合は、実施にあたっての
	感染拡大の防止対策を明記し、地域住民の理解を得る。
	◇ 直接対面での手渡しは避け、郵便受けに入れる。
	◇ 回収後は除菌シートなどで除菌する。

④会費の集	実施時期について、緊急性等がない場合は延期するなど工夫する。
金活動	◇ 月々ではなく、数カ月に1度集金するなど、可能な限り回数を減
	らす。
	◇ 会員宅への訪問時にはマスクを着用し、金銭受渡しの前後は手洗
	い、手指の消毒を徹底する。
⑤清掃活動、	作業はできるだけ2メートル以上離れて行う。
花壇整備な	◇ 複数で行う作業は、マスク、手袋を着用して会話は控え、接触機
ど	会を減らす。
⑥地域のま	調理、飲食における感染防止対策を徹底する。
つり	◇ 調理員は必ずマスク、手袋を着用し、手袋はこまめに交換する。
	◇ 複数で扱う調理器具、食器はこまめに消毒・洗浄する。
	◇ 出店などへの行列で密集が起こらないよう、整理券を配布するな
	ど工夫する。
	◇ 受付表などを設置し、可能な限り参加者の把握に努める。
	◇ 飲食については、飲食用の感染防止策を行ったエリア以外では行
	わず、周囲との距離をなるだけとって対面を避け、飲食中は、飲食
	時だけマスクを外し、会話の際はマスクを着用する「マスク会食」
	を徹底しましょう。
	◇ 同じ大皿での取り分けや回し飲み、お酌や盃はしないこと。特に
	アルコール摂取時は注意力が低下しやすいため、節度ある適度な
	飲酒を心がけること。
	◇ 主催者及び出店業者は、過剰な飲酒が行われないように周知及び
	防止に努めること。
⑦ラジオ体	地面にマーキングし、参加者が 2 メートル以上距離を置くようにす
操	る。
	◇ 体操時も原則マスクを着用する(熱中症にも十分注意する)。
	◇ 終了後は、その場に長く留まらないよう、早期解散を促す。

5 その他の参考事項

項目	説明
①参加人数	施設の定員数が不明な場合、4㎡に1人を目安にしましょう。
上限の考え	例 : 畳1帖=1.62㎡として、 10帖の場合(10×1.62㎡/4㎡)
方	→ 4名
②備品等の	マイク等の設備については、可能な限り、使い回しを避けましょう。
使い方	使い回しせざるを得ない場合は、マスク着用や消毒などの工夫をし
	ましょう。
③定期的な	屋内での活動の際は、開会前及び活動の間30分ごとに、同時に窓を
換気の実施	2箇所開けて室内を十分換気しましょう。
④予防対策	「感染対策をしているお店を利用する」「店舗の利用者名簿の作成に
などの各種	協力する」「使う人ごとにマイクやリモコンを消毒する」など、十分
お声かけ	な感染予防対策を講ずるよう、参加者へのお声掛けをお願いします。

6 活動中に感染症が発生した場合の対応例

活動中に感染が疑われる方が発生した場合、以下の対応例を参考としてください。 なお、活動の主催者・代表者は、迅速な連携のため、保健所連絡先を事前に把握されることをお勧めします。

- 速やかに別室へ隔離を行う。
- 対応する方は、マスクや手袋の着用など適切な防護対策を講じた上で対応する。
- 感染者が発生した箇所の換気を行う。
- 活動の主催者・代表者は使用施設管理者や保健所へ連絡し、消毒や濃厚接触者 調査の指示を受ける。
- 感染者と接触した方及び事業の参加者等の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿 を作成する。
- 症状が重篤な場合は、保健所とも相談し、医療機関へ搬送する。
- 可能であれば、接触確認アプリ等の活用により、感染状況等の把握に努めましょう。

○感染力の強い変異株は、 1つの密でも感染リスクが 高まります。

マスク着用や、手指消毒など、基本的な感染予防対策を徹底しつつ、密を避けることを心がけましょう。

だれだって いつだって 感染しうるから、

思いやりの 咳エチケット



差別は 許されない



1 別空間



2. **李** 集場所



3. 接場面



3つの条件がそろう場所が 集団発生のリスクが 高くなります。

感染症対策チェックリスト(屋内活動用)

- ・ 主催者・代表者は、活動前にこのチェックリストを活用して十分な対応がとられているか確認しましょう。
- ・ 参加者名簿を作成して活動日から1か月程度保管しましょう。作成にあたっては、個 人情報保護の観点から、本人に同意を得た上で作成し、保管場所にも留意しましょう。
- ・ イベント等に関しては、参加人数の上限を守りましょう。

【共通する対策】

項目	対策チェック欄			
人数制限	□対人距離の確保(2メートル以上)を徹底した空間の確保			
活動中の感染リス	□手洗いや手指の消毒の徹底 □マスクやフェイスシールドの着用を徹底			
クの低減	□参加者が共有するものや、口が触れる可能性があるものは消毒する			
体調不良の方の活	□事前の検温			
動自粛	□熱のある人や軽い風邪症状や体調がすぐれない方の参加を制限			
3 密の徹底的な回	□対人距離の確保(2メートル以上) □大人数での参加を制限			
避	□イベント開催時における人数制限の順守 □会場の換気を行う(2方向以			
	上)□手の届く距離での会話、発声、運動を避ける			
参加者の把握	□参加者名簿の作成			
	□名簿作成について、参加者への同意、利用方法を周知する			
広報・周知	□感染リスクの低減策や健康管理について、役員や参加者へ周知する			
その他	□こまめな水分補給など、熱中症対策をしっかり行う			
	□高齢者や妊婦など重症化リスクの高い方が参加する際は、対策をより徹底			
	□適正なゴミ処理と清掃等を行う方のマスク・手袋着用、作業後の衛生対応			
	□感染が拡大傾向となった場合の、事業の中止や見直し			

【活動ごとの対策】(活動内容に応じて共通する対策に加えて実施)

活動内容		対策チェック欄			
調理、会	料理教室、	□食器や箸をおくテーブルなど、直接触れる可能性のある場所は			
食を伴う	慰労会など	消毒する			
活動	※全ての活動で	□大皿での取り分けは控える □とり箸やトングの共有は控える			
	会食・飲食を伴	□会食の場合、会食をやめてお弁当での持ち帰りに変更するなど			
	う場合も該当	検討する			
運動を伴	体操、踊り、	□呼気が激しくなるような運動は、より一層間隔を空け、運動中の			
う活動	ダンス、運動会	大きな会話や応援は行わない			
	など	□呼気が激しくならない運動では、人と人との間隔を十分空ける			
会議、研	総会、会議、打	□滞在時間が短くなるよう、工夫する			
修など	合せ、	□対面にならないようにする			
	研修会 など	□施設内での食事は控える			
交流会、	囲碁、将棋、麻	□囲碁・将棋・麻雀に使用する用具は、使用前・使用後に消毒する			
遊戯など	雀、カラオケ、	□複数での発声や楽器演奏の場合は、十分な間隔を空け、飛沫感染			
	子育てサロン	の防止対策を強化する			
	など	□施設内での食事は控える			

※該当する活動がない場合は、類似の活動を参考に対策をお願いいたします。

感染症対策チェックリスト(屋外活動用)

- ・ 主催者・代表者は活動前にこのチェックリストを活用して十分な対応がとられている か確認しましょう。
- ・ 参加者名簿を作成して活動日から1か月程度保管しましょう。作成にあたっては、個 人情報保護の観点から、本人に同意を得た上で作成し、保管場所にも留意しましょう。
- ・ イベント等に関しては、参加人数の上限を守りましょう。

【共通する対策】

項目	対策チェック欄			
人数制限	□対人距離の確保(2メートル以上)を徹底した空間の確保			
活動中の感染リス	□手洗いや手指の消毒の徹底 □マスクやフェイスシールドの着用を徹底			
クの低減	□参加者が共有するものや、口が触れる可能性があるものは消毒する			
体調不良の方の活	□事前の検温			
動自粛	□熱のある人や軽い風邪症状や体調がすぐれない方の参加を制限			
3 密の徹底的な回	□対人距離の確保(2メートル以上) □大人数での参加を制限			
避	□イベント開催時における人数制限の順守 □会場の換気を行う(2方向以			
	上)□手の届く距離での会話、発声、運動を避ける			
参加者の把握	□参加者名簿の作成			
	□名簿作成について、参加者への同意、利用方法を周知する			
広報・周知	□感染リスクの低減策や健康管理について、役員や参加者へ周知する			
その他	□こまめな水分補給など、熱中症対策をしっかり行う			
	□高齢者や妊婦など重症化リスクの高い方が参加する際は、対策をより徹底			
	□適正なゴミ処理と清掃等を行う方のマスク・手袋着用、作業後の衛生対応			
	□感染が拡大傾向となった場合の、事業の中止や見直し			

【活動ごとの対策】(活動内容に応じて共通する対策に加えて実施)

活動内容		対策チェック欄				
調理、会	夏祭り など	□座席の感覚を十分に開ける □大皿での取り分けは控える				
食を伴う	※全ての活動で	□複数で扱う調理器具、食器はこまめに消毒・洗浄する				
活動	会食・飲食を伴	□調理員は必ずマスク、手袋を着用し、手袋はこまめに交換する				
	う場合も該当	□出店などの行列対策として整理券を配布する等の工夫を行う				
		□会場内に密集となるような飲食場所などは設けない				
		□周囲との距離をなるだけとって対面を避け、会話は控えめにす				
		る				
		□主催者及び出店業者は、過剰な飲酒が行われないように対策を				
		講じ、周知及び防止に努める				
運動を伴	運動会、グラウ	□こまめに手を洗う □近距離になったり、接触するような活動				
う活動	ンドゴルフなど	は控える				
		□更衣室、観客席、待機場所は換気を行う				
環境美化	清掃活動 など	□複数で行う作業は、マスク、手袋を着用し、会話は控え、接触機				
活動		会を減らす				
その他	防災訓練など	□炊き出し訓練の際は、調理、会食を伴う活動と同様の対策をとる				

※該当する活動がない場合は、類似の活動を参考に対策をお願いいたします。

参加者名簿

活動年月日	令和	年	月	日()	:	~	:	
行 事 名									
	団体	等の	名 称						
主催者名	代表者	氏名・	連絡先			TEL			

【参加者の皆様へ】

この参加者名簿は、感染者が発生した際に保健所に連絡できるようにするため作成しています。

活動後2週間以内に、新型コロナウイルス感染が判明した場合は、必ず活動主催者・団体代表者までご連絡ください。

なお、この個人情報については、上記の目的又は法令等に定める一定の場合を除き、皆様の同意を得ずに第三者への提供・開示はいたしません。

ご記入のご協力をよろしくお願いします。

No	氏名	連絡先雹	備考
例	人吉 太郎	000-000-0000	子ども2人と参加
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13	3		
14			
15			